

口は健康のもと Vol.165

口腔がん ② ～セルフチェック～

今回は口腔がんの概略と早期発見の重要性についてご説明しました。今回はより具体的に自分で出来るチェック方法をご説明します。

口腔がんの発生部位はどこでしょう？ 一番多いのは舌です。ほとんどの場合、舌の側面にできます。次に多いのが歯肉（歯ぐき）です。その他、口蓋部（口の天井）、頬粘膜（ほっぺたの内側）、口腔底（舌の下）、口唇（くちびる）にも発生します。つまり歯以外の場所には全て発生する可能性があります。ですから、口の中をくまなく手鏡でチェックしましょう。

では、チェック項目です。

- ①口内炎や傷が2週間たっても治らない。
- ②しこりや腫れ、ザラザラした所がある。
- ③色の違う部分（白斑や赤斑）がある。
- ④口の中（舌・歯肉・頬・口唇・口蓋）から出血する。



上記のチェック項目に該当しても全てが『口腔がん』というわけではありません。

でも、放置しないでお近くの歯科医院で診てもらうことをおすすめします。

なお、奥羽大学歯学部附属病院では、これらのチェック項目が書かれた『口腔がんチェックシート』を作成・配布しています。病院ホームページ（<http://ohu-dent.jp>）にも掲載しておりますのでご活用ください。

奥羽大学歯学部附属病院 口腔外科 講師 濱田 智弘